関西Best Act2017
上半期作品部門2位
点々の階

囲碁劇

点転

（『…』改題・改作）

点転を通して世界を見ると
なにが見える？

●大阪公演● 2.27(土)‥3.1(月)
space korallion スペースコラリオン

●南埼玉公演● 5.15(土)‥17(月)
コミュニティセンター進修館 小ホール

●脚本・演出●
久野那美

●出演●

紙袋を持つ男
七井 悠
(劇団飛び道具)

何も持たない男
佐々木峻一
(努力クラブ)

窓の外を見る女
新免わこ

白靴下の男
三田村啓示

黒靴の女
大西智子
(あなざーわーくす)

アナウンスする女
田村千明三段(関西棋院棋士)
※声の出演

舞台監督:中西隆雄、照明:葛西健一
音響:合田加代(結音)、美術:竹腰かなこ
演出助手:湊游(劇的☆爽怪人間) / 田宮ヨシノリ / 桜田 燐(劇団白色)
制作:竹内桃子(匿名劇壇) / 若旦那家康(コトリ会議)
大阪公演当日運営:三坂恵美(合同会社Booster)
スチール写真撮影:beni taeko
宣伝美術:小泉しゅん(Awesome Balance)
映像:竹崎博人(flat box)
小道具ブックカバーイラスト:大谷菜々
主催:階
企画・製作:点々の階
助成:芸術文化振興基金・大阪市助成事業(大阪公演)
後援:一般財団法人 関西棋院

●南埼玉公演● 5.15(土)・17(月)
コミュニティセンター進修館 小ホール
〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1

5.15(土) 11:30・15:30
16(日) 11:30・15:30
17(月) 13:30

※上演時間は約70分 ※開場は開演の20分前から

東武スカイツリーライン「東武動物公園駅」西口 徒歩約5分

(作者の)久野さんの囲碁に対する感じ方が、すごく…なんていうか、独特の目線というか…ただゲームとしてじゃなく囲碁の本質みたいなものを表現してるなあと。だから、見ればみるほど囲碁の深さとシンクロしてくるんですよ。囲碁を知っている方は改めて囲碁を好きになると思うし、知らない方はルールを知った後に観ると全然違った劇に変化するんじゃないでしょうか。

田村千明三段(関西棋院棋士)

●料金●
一般‥3,000円 学生‥2,000円 高校生以下‥無料
サポーターチケット‥+1,000円〜 ボトルチケット‥+500円〜

●点々の階ウェブサイト http://floor.d.dooo.jp/tenten/
●チケットぴあ https://t.pia.jp Pコード(504-949)
■前売券 販売期間:2021年3月15日〜5月11日 ※事前決済
※ウェブサイトからは日時を指定しなくても購入頂けます。
■当日券 ご予約期間:5月12日〜 ※当日決済

点々の階ウェブサイト

点転を通して世界を見る
なにが見える?

●お問合せ●
TEL 050-5240-3066
mail tentennokai2021@gmail.com

点転

〇〇の階

関西を拠点に活動する劇作家久野那美の作品上演ユニット。虚構と現実、客席と舞台、劇の中と外…の境界を越境して広がっていく作品が特徴。「演劇用」ではない魅力的な上演会場も毎回話題になる。初めての関東公演に選んだ会場は、「世界のどこにもないような空間」をコンセプトに象設計集団が設計した壮大な建物【コミュニティセンター進修館】。

久野那美

兵庫県出身、大阪府在住。「言葉にできるいちばん素敵なことは嘘をつくこと」をモットーに日常と非日常の混在する会話劇を創る。詩的で美しい台詞と、見た人によって受け取り方の異なる多面体の物語世界に定評がある。戯曲は、全国の高校演劇大会や学生劇団、アマチュア劇団などにより毎年数多く上演されている。

第4回テアトロ・インキャビン戯曲賞佳作『たとえば零れたミルクのように』
第5回OMS戯曲賞佳作『パノラマビールの夜』
第22回OMS戯曲賞最終選考ノミネート
2015年利賀演劇人コンクール奨励賞 他

「点転」は、囲碁を換骨奪胎した架空の盤上競技。どこまでも広がる盤を挟んで、何もない空間に二者が点を打ち込み合う。勝つことと負けること始まること終わること希望と絶望そしてその先の物語。